

令和3年度

学力向上推進員研修会資料

【小学校部会】

徳島県学カステップアップテスト結果から
考える学習指導について(国語)



1

徳島県学カステップアップテスト(令和3年5月実施)結果・分析

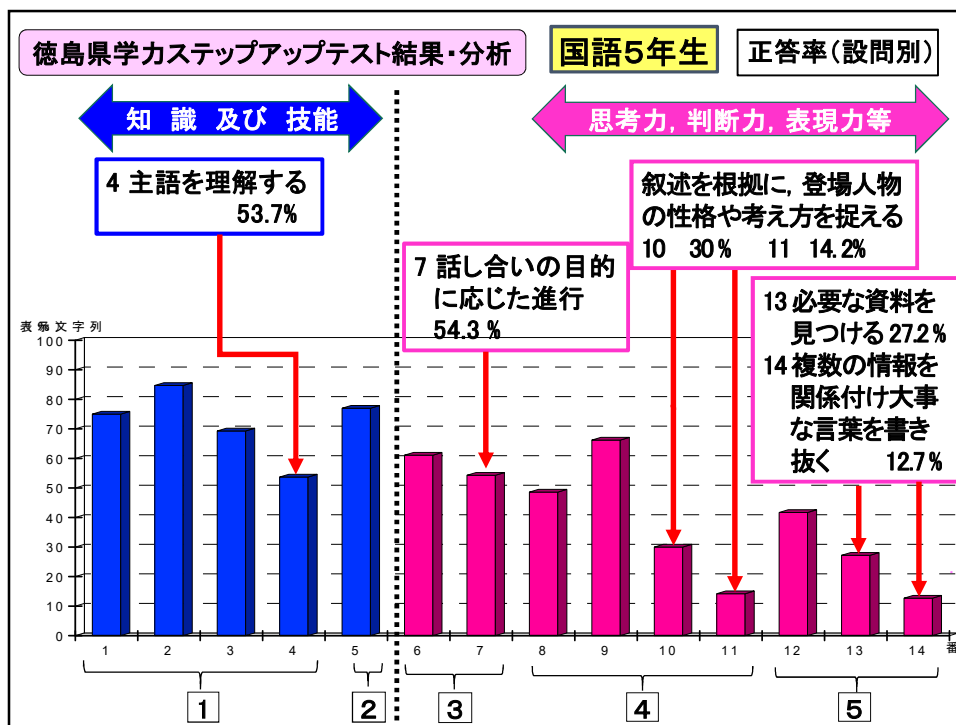
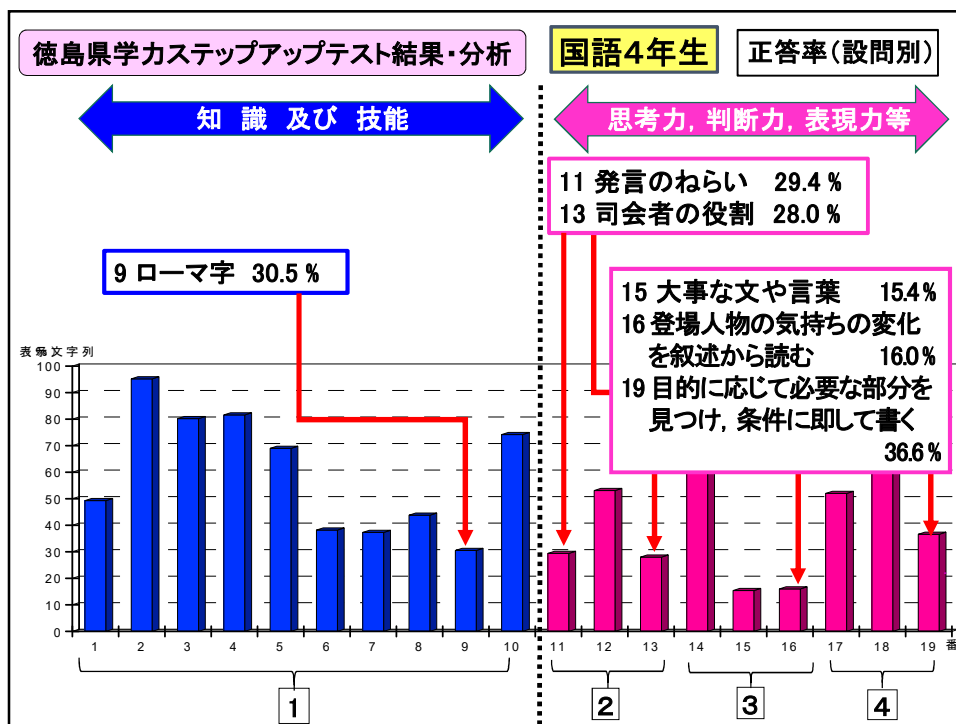
平均正答率(%)

	全体正答率	無解答率
4年	50.8	5.3
5年	51.1	6.0

「領域別」における平均正答率(%)

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能
4年	36.8	26.3	42.6	59.9
5年	57.7	19.0	34.4	71.9

2



学力向上への取組の成果

小学校国語

(4)…4年生、(5)…5年生

「知識及び技能」

- ① 配当学年学習の漢字について、読み書き(熟語)すること(4)(5)
- ② 漢字の筆順について理解すること(4・放)
- ③ 主語について理解すること(5)
- ④ ことわざを正しく活用する(5)
- ⑤ 指示語の指している内容を把握する(4)

「思考力, 判断力, 表現力等」

- ⑥ 目的や必要に応じて、文章中の大事な言葉を書き抜く(5)
- ⑦ 登場人物の行動を基に、場面の様子を想像して読むこと(4)
- ⑧ 目的に応じて、資料を選ぶ(4)(5)

5

定着状況が不十分な課題

小学校国語「知識及び技能」

- ① 配当学年学習漢字を読む(4・島国)
- ② 漢字の筆順「医」(4)
- ③ 表現にふさわしい音読の仕方を選ぶ(4)
- ④ 主語について理解すること(4)
- ⑤ ローマ字を書くこと(促音)(4)

6

定着状況が不十分な課題 ※ (選)択型、(短)文型、(記)述型

小学校国語「思考力、判断力、表現力等」

- ①話合いの**発言のねらい**を捉えること(選)
話合いにおける**司会者の役割**を理解すること(選)
- ②ノート整理の仕方や**関係図のまとめ方**を捉えながら、文章の中での大事な文や言葉を見つけ、書き抜く(短)
- ③場面の移り変わりに注意しながら、**登場人物の気持ちの変化**について、叙述を基に**想像**して読むこと(記)
- ④叙述を根拠にして、**登場人物の性格や考え方**を捉えること(記)
- ⑤**複数の資料(情報)**を比較すること
○目的に応じて、必要な情報を資料から取り出す(選)
○課題を解決するために、必要な資料を見つける(選)
- ⑥**複数の情報を関係付け**、目的や必要に応じて、**文章中の大事な言葉**を書き抜くこと(記)
- ⑦目的に応じて、資料の中から必要な部分を見つけ、**条件に即して書く**こと(記)

授業改善

○語彙を意図的に増やす。
学習や話題にする際に、意図的に、形の似た漢字・同音異義語・同訓異字を話題にする。

○ 周り 回り

※同訓異字

(令和3年度ステップアップテスト5年 1 一)

まわりを見て、

75.0%

○ しまぐに

※よみかえ

(令和3年度ステップアップテスト4年 1 一)

日本は、まわりを海にかこまれた島国だ。

49.3%

配当学年学習漢字を書く

8

授業改善

○日常的にローマ字を読んだり、書き換えたりする機会をもつ。(例: クイズ)

言語環境に織り交ぜる。

きっぷ

kippu

撥音(ん)

拗音(や、ゆ、よ)

長音(-)

令和元年度 39.6%

令和3年度 30.5%

ローマ字を書く問題 (促音)

→ 医

授業改善

○グループワークしたときの関連した漢字も話題にする。

平成28年度 46.2%

令和3年度 38.2%

漢字の書き順を理解する

(令和3年度ステップアップテスト4年 1 三)

授業改善

○主語、述語を意識させる。

○他者の作文を音読する場を設ける。

○文章の推敲指導を取り入れる。(短い文章の協同批評)

芽を出します。

落ちたところで種は

(令和3年度ステップアップテスト5年 1 三)

令和3年度 53.7%

成果 ← 平成31年度 39.8%

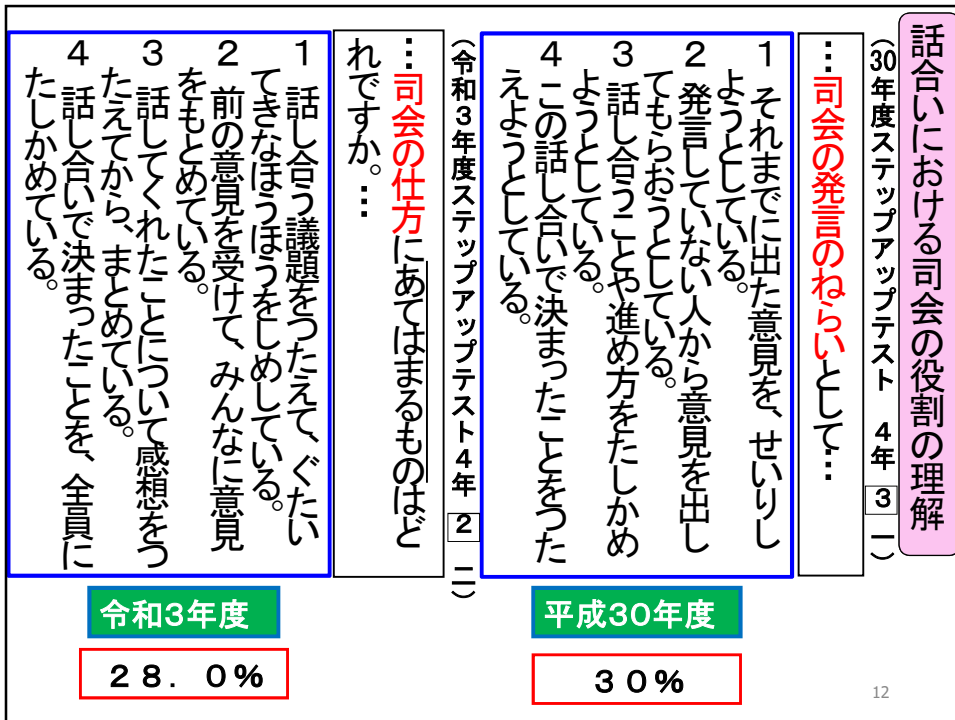
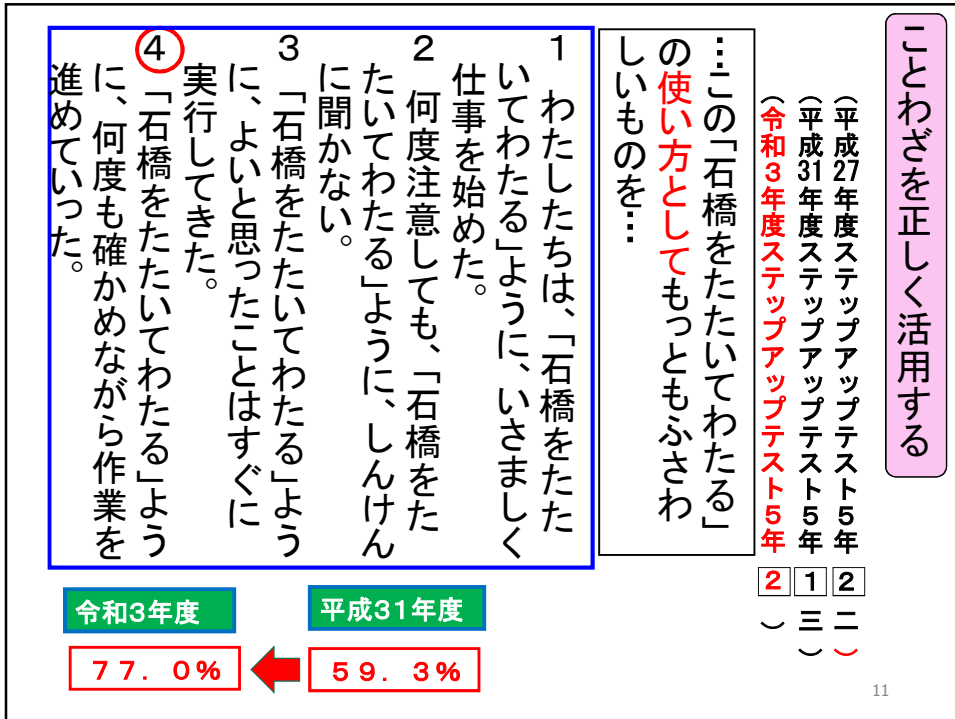
遊びにきました。

ぼくの家に小鳥が


(令和3年度ステップアップテスト4年 1 五)

43.8%

主語について理解する



話し合いにおける学習指導



小集団や全体で、話し合いの経験を積み重ねる。

○計画的かつ効果的な話し合い

司会 役割を理解し、出てきた発言を整理したり、捉えたり、まとめたりする。

話すとき 自分の立場や考えを明確にする。

聞くとき 意見の**共通点**や**相違点**を考える。

○話し合いの仕方を理解して実践

- ・話し合いの経験を積み重ねる。(小集団・学級)
- ・話し合いをビデオ撮影等したものを視聴する。


○話し合いの進め方などの具体的なポイントを明確にする。

13

指導

○司会者のてびき

- ・これから、～について話し合います。時間は～分です。
- ・～さん、いかがですか。
- ・これまでの意見をまとめると、こうなります。
- ・話題をもとにもどしましょう。
- ・A、B二つの意見が出てきました。まずAについて意見を出しましょう。




○司会者の役割(グループの話し合い)

- ・話し合いのテーマや目的、時間等を示す。
- ・出てきた意見をまとめたり、整理したりする。
- ・話題がそれているときは、修正する。
- ・一部の意見ではなく、全体から意見を収集する。
- ・グループの意見を集約したり、まとまらない場合は、決をとったりする。

話し型を使用させる時に、実践の中で場の状況に対応して話す力をつけていくこと。

話し型の提示→定着→活用



授業改善

話し合いの流れを知らう。(2)

② (より具体的に質問したり、たずねられたことに答えたりする。)

それではみんなの発表が終わったので、これからそれぞれの考えを知り、質問をす時間に入りませ。質問のある人は手を挙げて下さい。

B B
C C
C C

はい、Aさんに質問です。
はい、Cさん。
はい、Aさんに質問です。
はい、Cさん。
はい、Aさんに質問です。
はい、Cさん。

はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。

はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。

はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。

はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。

はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。

はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。
はい、Aさん。

○話し合い台本を作成する際、発言内容(上段)、発言のねらい(下段)を並記し、双方の意識付けを図る。

- ★ たがいの考えについて、質問したり、それに答えたりする。
- ★ 相手の考えを受け止めてから質問する。
- ★ 具体的な考えを述べる。
- ★ 具体的な問題点を挙げる。

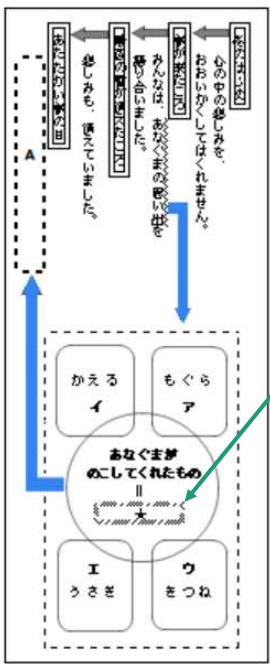
関係図のまとめ方を捉えながら、文章から大事な文や言葉を見つけて書く

(令和3年度ステップアップテスト 4年③ニ)

場面の様子や登場人物について「フートの一部」にまとめました。(★)には、**十八字**…【本文中】から**見つけて書きぬき**…

みんなだれにも、なにかしら、あなぐまの思いがありました。**あなぐまは、一人一人に、わかれたあとでもたからものとなるような、ちえやくふうをのこしてくれたのです。**みんなは、それで、たがいに助け合うこともできました。

図と言葉と関連づける



令和3年度 15.4%

平成29年度 22.4%

授業改善

○年間を通して、多様な言語活動の体験（多様な表現）
○板書やノート整理に「図示」を取り入れる。思考ツールも一例。

冬のはじめ
心の中の悲しみを、
おおいかくしてはくれません。

春が来たころ
みんなは、あなぐまの思い出を
語り合いました。

最後の雪が消えたころ
悲しみも、消えていました。

あたたかい春の日

他の言葉と関連づける

（令和3度ステップアップテスト4年 ③三）

あたたかい春の日に、おくりもののお
礼が言いたくなったもぐらの気持ちを
書きましよう。

場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の
気持ちの変化について、叙述を基に想像して読む

16.0% (9.7%)

授業改善

○視点を示し、複数見付ける。
○叙述をもとに根拠を明確にする。

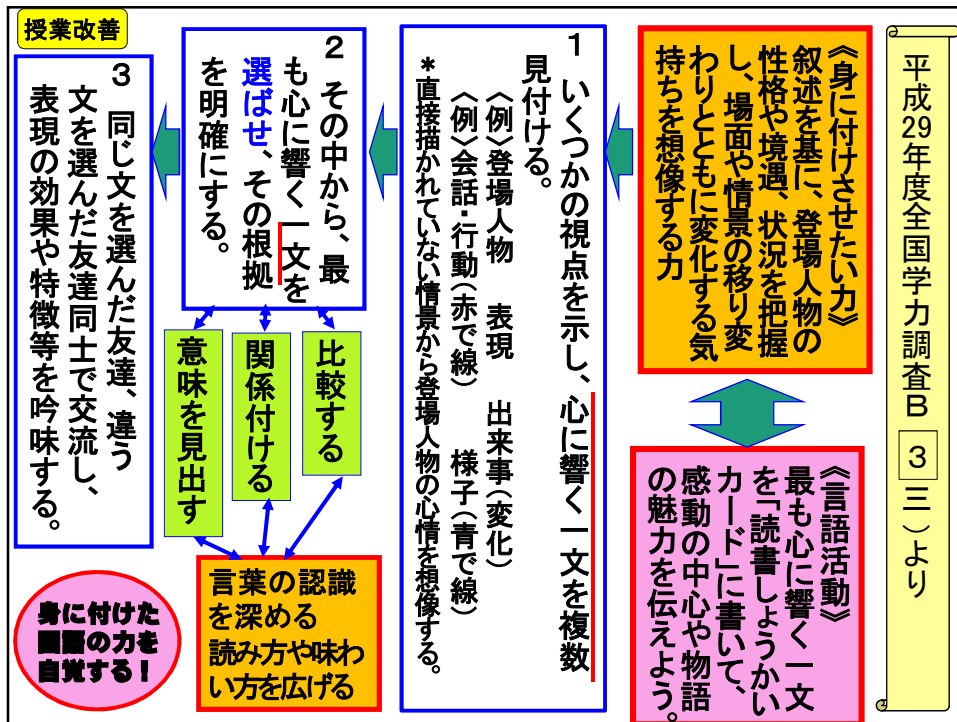
（令和3度ステップアップテスト5年 ④三）

ピーターの行動をもとに、どんなところが
みりよくなのか、あなたならどのように書
きますか。

叙述を根拠にして、登場人物の性格や考え方を
捉える

カード①	ピーターのみりよく おどろくほど明る く、みんなを笑 わせたり、楽しま せたりできる。	ピーターの行動 あいきつとき、 大きな声で、 「ジャンボ」 と言ってみんなを 大笑いさせた。
カード②	ピーターの行動 ろうかを走ってい た五、六人のグル ープに「ボレボ レでいこうよ」 と言った。	カード③ ぼくに 「ア ー」と言っ て、「さそっ た。」
カード④	相手の気持ちを さっして、声をか けるなど、やさし い気づかいができ る。	カード⑤ サイロの様子や 自然のままに生き ているルオ族の不 思議な話をしてく れた。
カード⑥	だれにでも親しく 声をかけて打ちと け、あいきつを通 して仲良くなるこ とができる。	カード⑦ 近所のおじいさん とスワヒリ語であ いさつをしてい る。

ウ 30.0% (13.9%)
エ 14.2% (20.0%)



目的に応じて、必要な資料を選ぶ

(令和3年度ステップアップテスト 4年 4(二))

質問①
 「わずかにのこされた水たまりとは、どれくらいの水たまりですか。」

質問②
 「四十度近くまでたえられるそうですが、水温が下がっても、生きることができますか。」

【しりょう1】
 めだかほど、温度の変化に強い魚はほかにいません。めだかは、それぞれの環境にあわせて、体のしくみをずばやくかえることができるのです。真夏の日にさしてぬるまゆのようになった水たまりでも、真冬に水がはったあさい池のそこでも、たええることができます。

【しりょう2】
 日でもりつきで、水が少なくなってもめだかは生きています。人間が歩いた足あとほどの水たまりでも、めだかは生きてことができます。

【しりょう3】
 小さなめだかたちには、天敵がたくさんいて、子孫をたたくさないためにも、めだかはたまごをたくさんまなげればなりません。われらの9%はメスで、しかも、繁殖期間が長いのもそのためです。

【しりょう4】
 魚は、まみずか海水かのどちらかですんでいます。まみずですむ魚と海水ですむ魚とは、体の中のエン分をちょうせつするための体のしくみが正反対にできています。めだかは、まみずでも海水でもすむことができます。エン分をちょうせつするためのしくみを体にならえて、川でも海でも、元気に泳ぐことができるのは、そのためです。このほか、川や海をいきまするサケやウナギなども、両方のしくみを体にもった魚として知られています。


61.7% (9.3%)

目的に応じて、資料の中から必要な部分を見つけ、条件に即して書く

（令和3年度ステップアップテスト 4年 4二）

……しつ問③「どうしてめだかは、海水でも生きられるのですか。」

【しりょう1】
めだかほど、温度の変化に強い魚はほかにいません。めだかは、それぞれの環境にあわせて、体のしくみをずばやくかえることができるのです。
真夏の日ざしでぬるまゆのようになつた水たまりでも、真冬に水がはったあさい池のそこの、たえることができます。



【しりょう2】
目でりつづきで、水が少なくなつたわすかな水たまりにもめだかは生きています。人間が学んだ足あとほどの水たまりでも、めだかは生きることができます。

【しりょう3】
小さなめだかたちには、呼吸がたくさんいて、子めだかはたまたまごをたくさんうたなければなりません。むわれの80%はメスで、しかものたためです。

【しりょう4】
魚は、まみずか海水かのどちらかですんでいます。まみずですむ魚と海水ですむ魚とは、体の中のえん分をちようせつするための体のしくみが正対にできています。めだかは、まみずでも海水でもすむことのできる、えん分をちようせつするためのしくみ体にそなえています。まみずか海水かでそのしくみを使い分けるのです。川でも海でも、元気に泳ぐことができるのは、そのためです。
このほか、川や海をいきまするサケやウナギなども、両方のしくみを体にもつた魚として知られています。

二 小西さんは、「めだかの原こ」を友だちにせつ明する中で、二つのしつ問をされました。【しりょう1】から【しりょう4】までと「友だちからのしつ問」を聞いて、あとの問いに答えましょう。

（資料集 二）

○さん「うにしたりしりょうを【しりょう1】から【しりょう4】までのなかから一つえらぶ。」
○「めだかは、」につづけて書き始め、「からです。」で終わるように……

平成28年度	19.5%
令和3年度	36.6%

自分の課題を解決するために、必要な資料を見つける

（令和3年度ステップアップテスト 5年 5二）

二 人間とのかかわりによって動物たちのねむりが変化することに注目しました。そのことについて説明するには、この特集の五つの記事の、どの記事と、どの記事を使えばよいでしょう。次の1から5までの記事の中からあてはまるものを二つ選んで、その番号を書きましょう。

1 動物たちはなぜねむるのか？
2 動物たちのいろいろなねむり方
3 動物たちのすいみん時間の調査
4 夜にねむる？ 昼にねむる？
5 動物たちも夢を見るの？

令和3年度	成果	平成27年度
27.2%	←	21.4%

動物たちのすいみん時間の調査

■動物たちの1日のすいみん時間

見晴らしのよい草原では、草食動物は、しつこく肉食動物におそわれるかわかりません。高くしげった木のわきにかくれるなどで、安全な「ねぐら」もありません。深くねむってしまうのはたいへんきんです。だから、すいみん時間は短く、こきぎみに強いねむりをくり返します。＊てきにおそわれる心配のない肉食動物は、ゆうゆうと長いすいみんをとっています。

特集 「ねむり」のなぞ

動物たちはなぜねむるのか？

動物にとつてねむることは、きげんをとる命がけのこういひです。それにもかかわらず、動物たちはねむります。脳が休息している状態です。脳が休息しているため、ねむりは欠かせないものなっています。動物たちは生きていくために、かぎられた条件と時間のもちで、いろいろなねむり方をしています。

動物たちのいろいろなねむり方

肉食動物について

ライオンやトラのような肉食動物は、ゆっくりくつろいでねむったり、あおむけでねむったりします。

草食動物について

<その1> 食べながらねむる！

ウシ・ヤギ・ゾウなど草食動物は、栄養をとるために、植物を食べ続けなければなりません。中でも、ウシやヤギは消化の悪い草から栄養をとるため、長い時間反すう(いったん食べたものを口にもどして、もう一度かみくだく消化方法)しなければなりません。だから、「うとうと状態」でも、食べた草を反すうしているのです。

ところが、人間が消化のよいてんぷをウシにあたえたと「うとうと状態」がへり、強いねむりがあえるといふ変化が起りました。

<その2> 立ったままねむる！

草食動物のゾウ・ウマ・キリンなどは、肉食動物から身を守るために、立ったままねむります。生まれて9か月の赤ちゃんゾウが「立ちね」をしたという記録が残っています。ゾウやキリンは、すわってねむることがあっても、20分ぐらいいというまわめで短い時間だそうです。

夜にねむる？ 昼にねむる？

昼にねむり、夜に活動するライオンやトラなどは、夜行性です。夜にねむり、昼間に活動するゴリラやオランウータン、キリンなどは昼行性です。こういったねむりのリズムを動物たちは生まれながらにもっています。

ところが、人間と行動をともにすることにより、昼行性へと変わった夜行性動物がいます。例えば、イヌは、オオカミと同じように、夜、えものがねている間にかりを始める夜行性動物だったのです。しかし、人間に飼われ、かりの必要がなくなり、人間に合わせて生活する中で、イヌは昼行性へと変わったのです。

動物たちも夢を見るの？

多くの動物は夢を見ていると考えられています。その根拠として、ネコや犬がねむっている状態のネコが、起き上り、り、まるで夢の中になかまをいしているような動作をしたのです。

【条件】

- 「動物たちのいろいろなねむり方」動物たちのすいみん時間の調査」の二つの記事 を使って書くこと
- 「…たり、…たり」という言葉を使って、一文で書くこと。
- 「草食動物の」に続けて、三十字以上、四十字以内で書くこと。

いちばんおどろいたことは、草食動物と肉食動物のすいみんが大きくなっていることだ。それに比べ、肉食動物のすいみん時間は長く、ゆっくりくつろいでねむったり、あおむけでねむったりする。

草食動物のすいみん時間は長く、ゆっくりくつろいでねむったり、あおむけでねむったりする。

目的にに応じて、文章から大事な文や言葉を見付けて書く

(令和3年度ステップアップテスト 5年 5/3)

草食動物と肉食動物のすいみんがちがいにについて
 …… まとめました。どのようなことを書くときによい
 ですか。あとの【条件】に合わせて書きましよう。

令和3年度 成果

12.7%

←

平成27年度

9.8%

動物たちのすいみん時間の調査

■動物たちの1日のすいみん時間

見晴らしのよい草原では、草食動物は、いつ肉食動物におそわれるかわかりません。高くしげった木のわきにかくれるていどで、安全な「ねぐら」もありません。深くねむってしまうのはたいへんきけんです。だから、すいみん時間は短く、こきざみに浅いねむりをくり返します。* てきにおそわれる心配のない肉食動物は、ゆうゆうと長いすいみんをとっています。

特集 「ねむり」のなぞ

動物たちはなぜねむるのか？

動物にとってねむることは、きけんをもたない活動のついでです。それにのみかかわらず、動物たちはねむります。

ねむりは、脳が休息している状態です。脳が発達した動物にとつて、ねむりは欠かせないものなです。動物たちは生きていくために、かきられた条件と時間のもとで、いろいろなねむり方をしています。

動物たちも夢を見るの？

多くの動物は夢を見ていると考えられています。その根拠として、ネコでの実験があります。実験では、ねむっている状態のネコが、起き上がり、とびかかったり、にげだしたり、まるで夢の中になにかをしていっているような動作をしたのです。

夜にねむる？ 昼にねむる？

昼にねむり、夜に活動するライオンやトラなどは、夜行性です。夜にねむり、昼間に活動するコリヤやオランウータン、キリンなどは日行性です。こういったねむりのリズムを動物たちは生まれながらにもっています。

ところが、人間と行動をとるにより、昼行性へと変わった夜行性動物があります。例えば、イヌは、オオカミと同じように、夜、えものがねている間にかりを始める夜行性動物だったのです。しかし、人間に合わせ、かりの必要がなくなり、人間に合わせて生活する中で、イヌは日行性へと変わったのです。

動物たちのいろいろなねむり方

肉食動物について

ライオンやトラのような肉食動物は、ゆっくりくつろいでねむったり、あおむけでねむったりします。

草食動物について

<その1> 食べながらねむる！

ウシ・ヤギ・ソウなど草食動物は、栄養をとるために、植物を食べ続けなければなりません。中でも、ウシやヤギは消化の悪い草から栄養をとるため、長い時間反すう(いったん食べたものを口にもどして、もう一度かみくだく消化方法)しなければなりません。だから、「うとうと状態」でも、食べた草を反すうしているのです。ところが、人間が消化のよいエサをウシにあたえると、「うとうと状態」がへり、深いねむりがふえるという変化が起こりました。

<その2> 立ったままねむる！

草食動物のゾウ・ウマ・キリンなどは、肉食動物から身を守るために、立ったままねむります。生まれて9か月の赤ちゃんゾウが「立ちね」をしたという記録が残っています。ゾウやキリンは、すわってねむることがあっても、20分ぐらいというきわめて短い時間だそうです。

肉食動物のすいみん時間は長く、ゆっくりくつろいでねむったり、あおむけでねむったりする。

動物たちのすいみん時間の調査

見晴らしのよい草原では、**草食動物は**、いつ肉食動物におそわれるかわかりません。高くしげった木のわきにかくれるていどで、安全な「ねぐら」もありません。深くねむってしまうのはたいへんきけんです。だから、**すいみん時間は短く**、こきざみに浅いねむりをくり返します。

目的に合わせて必要な言葉を文章から見つけ、組み合わせる

動物たちのいろいろなねむり方

草食動物について

<その1> **食べながらねむる！**

ウシ・ヤギ・ソウなど草食動物は、栄養をとるために、植物を食べ続けなければなりません。中でも、ウシやヤギは消化の悪い草から栄養をとるため、長い時間反すう(いったん食べたものを口にもどして、もう一度かみくだく消化方法)しなければなりません。だから、「うとうと状態」でも、食べた草を反すうしているのです。ところが、人間が消化のよいエサをウシにあたえると、「うとうと状態」がへり、深いねむりがふえるという変化が起こりました。

<その2> **立ったままねむる！**

草食動物のゾウ・ウマ・キリンなどは、肉食動物から身を守るために、立ったままねむります。生まれて9か月の赤ちゃんゾウが「立ちね」をしたという記録が残っています。ゾウやキリンは、すわってねむることがあっても、20分ぐらいというきわめて短い時間だそうです。

草食動物のすいみん時間は短く、食べながらねむったり、立ったままねむったりする。

対応

指導

学習指導に当たって

- 多様な資料から必要な情報を収集する場合
 - ・読む目的を明確にする
 - ・複数の情報の内容を比較する

効果的な読みの工夫が重要

目的に応じて効果的な読み方を選ぶ

- 比べ読み（複数の教材を）
- 速読
- 多読（同じ課題で多くの本を重ねたり並行させたりして読む）
- 詳細に読む（視点をもち場面を選んで）

授業改善

条件に即して書く

- 目的に応じるように
- 示された観点より
- 選択した情報（観点）を用いて
- 示された言葉・表現を用いて
- 書き出し・書き結びを用いて
- 字数の範囲指定

○「考えの形成」にあたり、手引きとして示してみる。

- ・これらの観点から一つ選んで書いてみよう
- ・ここに挙げた言葉から選んで書いてみよう
- ・ここに挙げた書き出しを使ってもいいよ
- ・ここに挙げた書き結びを使ってもいいよ

※例文は常に準備しておくこと。

「私（指導者）ならこう書くよ。もし、似た考えだ、という人は、使ってもいいよ。」

※アウトプット（発信・表現）を求めるなら、手引きとなる情報（例）をインプットできるように教材研究をしておくこと。

①言語環境の整備と継続的に取り組む場の設定

- ◇語彙を豊かにするために、教師の話、資料・書籍、掲示等を充実させる。
- ◇読書、音読、視写・聴写、短作文等、楽しく**反復できる**手立てを増やす。

②子供の興味・関心や必要感を踏まえ、主体的に取り組むことができる単元の構想と展開

- ◇実生活との関連を踏まえて**言語活動の目的**や**学習課題を明確**にする。
- ◇子供の実態に即して、**学習過程を弾力的**にし、繰り返したり取り立てたりして指導する。
- ◇学習の手引の作成や多様なモデルの提示等**指導・支援の方法を多様**にする。
- ◇**言葉による見方・考え方を働かせる**ために、子供が**比較・分類・関連付け**等**様々な思考**に取り組むよう発問や指示を工夫する。

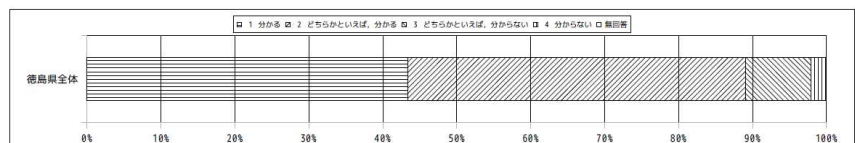
③身に付けた国語科の資質・能力や学習内容の自覚化を図る指導の充実

- ◇多様な**学習の記録**(ノート、表現物、教材・教具、映像・音声言語等)が生まれるように工夫する。
- ◇**「書くこと」を通して振り返り**ができるように、**書く場面を設定し、書き方を指導**する。

令和3年度学カステップアップテスト時の児童質問紙の集計

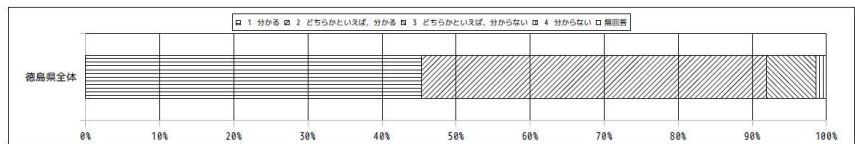
第四学年

質問番号	質問事項										
(12)	国語の授業の内容はよく分かりますか。										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
徳島県全体	43.3	45.6	8.8	2.0							0.1



第五学年

質問番号	質問事項										
(12)	国語の授業の内容はよく分かりますか。										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
徳島県全体	45.3	46.4	6.7	1.4							0.0



確かな学力の定着に向けて

1 子供たちが主体的に思考・判断し表現する言語活動を位置付けるとともに、その活動の中で、どのような国語の能力が身に付いたのかを子供自身に意識させる。

育てたい国語の能力にぴったり合った言語活動を位置付ける。評価規準や評価の方法を明確にする。

2 全国学力・学習状況調査やステップアップテストの問題を授業で活用する。

○活用問題を中心に、どのように考えて解けばよいのか解説する。

○日々の授業での話し合い活動や調べ活動、表現活動と関連させながら指導する。

3 「学習ガイド」等を活用し、初読の問題に慣れる。

「話し合い」活動の問題」 8問

「活用問題」 22問

「チャレンジプリント」 17問

教科書教材で学習した読む力が本当に身に付いているのか、別の教材で確かめる。